

2018年3月期 第2四半期 決算説明資料

2017年11月27日

文化シヤッター株式会社

目 次

P1 2018年3月期 第2四半期の実績について

P2 事業環境

P3 業績

P4 売上高および営業利益の増減要因

P5 セグメント別売上高および営業利益

P6 売上高の用途別セグメント別分析

P7 2018年3月期の見通しについて

P8 事業環境予想

P9 業績見通し

P10 売上高および営業利益の増減要因

P11 セグメント別状況

P12 重点施策の進捗状況について

P13 基幹事業の拡大 シャッター事業の強化

P14 基幹事業の拡大 ドア・パーティション事業の強化

P15 注力事業の強化 エコ&防災事業の強化

P16 注力事業の強化 メンテナンス事業の強化

P17 注力事業の強化 ロングライフ事業の強化

P18 注力事業の強化 海外事業の強化

重点施策 施工体制の強化拡充

P19 トピックス

P20 トピックス

総合試験施設「ライフイン環境防災研究所」を
規模と機能を拡充してオープン

P21 トピックス

新商品・受賞商品紹介

P22 参考資料

P23 文化シャッターグループ概要

P24 文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開

P25 連結貸借対照表

P26 連結キャッシュフロー計算書

P27 シャッター関連製品の状況（単体）

（重量シャッター、軽量シャッター、窓シャッター）

P28 建材関連製品の状況（単体）

（ドア、パーティション、エクステリア）

P29 サービス事業、リフォーム・リニューアル事業の状況

2018年3月期 第2四半期の実績について

	2016年3月期上期		2017年3月期上期		2018年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
新設住宅着工戸数 (万戸)	47.1	106.9%	50.0	106.0%	49.6	99.3%

非住宅着工床面積 (万㎡)	2016年3月期上期		2017年3月期上期		2018年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
工場 (万㎡)	486	131.0%	405	83.4%	471	116.2%
倉庫 (万㎡)	399	99.1%	481	120.6%	502	104.3%
医療・福祉 (万㎡)	325	65.1%	348	107.1%	318	91.4%
店舗 (万㎡)	348	99.5%	327	94.0%	305	93.1%
事務所 (万㎡)	358	109.7%	337	94.3%	340	100.7%
非住宅着工床面積 (万㎡)	2,647	96.8%	2,679	101.2%	2,794	104.3%

◆ 経済環境は、企業業績や雇用環境に改善傾向がみられるなど、景気は全体として緩やかな回復基調で推移した一方で、新興国をはじめとする世界経済の減速懸念や不安定な国際情勢等の影響により、景気の先行きに対する不透明感が拭いきれない状況で推移した。

◆ 建築市場について、当グループの先行指標である新設住宅着工戸数は、前年同期比0.7%減の49万6,000戸で推移した。

非住宅着工床面積(建築確認申請時点)は、医療・福祉と店舗向けが減少したものの、工場と倉庫、事務所向けが増加したことで、前年同期比4.3%増の2,794万㎡と、前年を上回った。

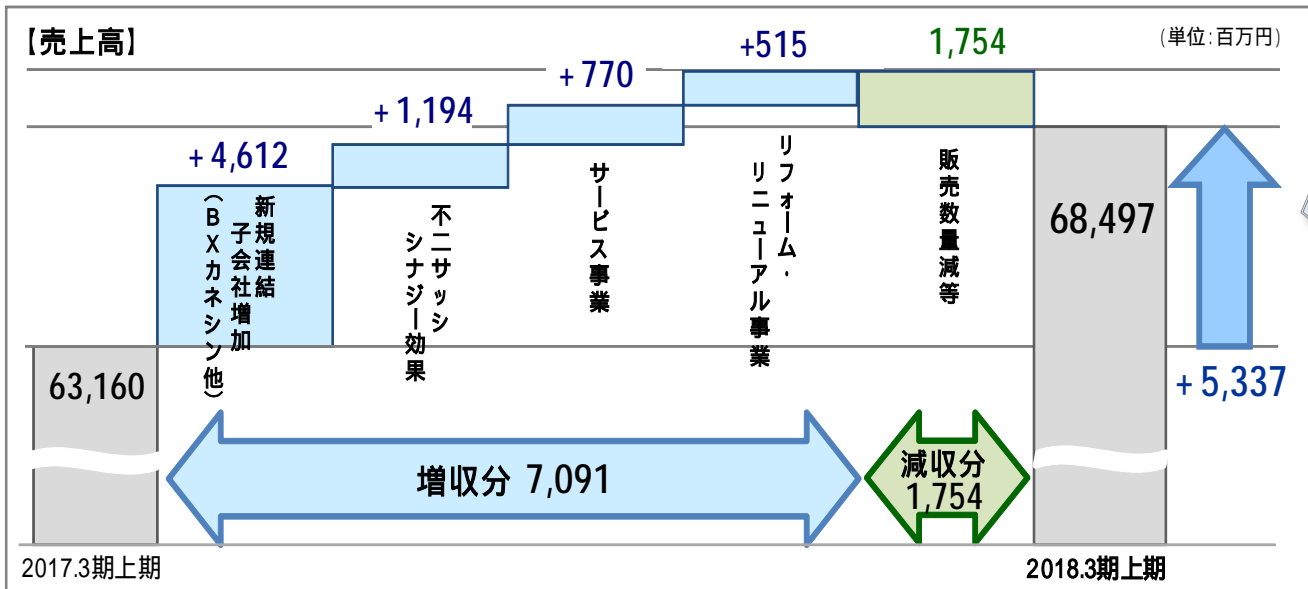
(単位:百万円)

	2017年3月期上期		2018年3月期上期						
	実績	売上比	期初予想	9月予想	実績	売上比	前期比	期初予想比	9月予想比
売上高	63,160	100.0%	71,000	69,000	68,497	100.0%	108.4%	96.5%	99.3%
売上原価	45,798	72.5%	51,600	50,900	50,360	73.5%	110.0%	-	-
売上総利益	17,362	27.5%	19,400	18,100	18,136	26.5%	104.5%	-	-
販売費及び一般管理費	14,971	23.7%	16,400	16,600	16,616	24.3%	111.0%	-	-
営業利益	2,390	3.8%	3,000	1,500	1,519	2.2%	63.6%	50.6%	101.3%
経常利益	2,486	3.9%	2,850	1,450	1,587	2.3%	63.8%	55.7%	109.4%
当期純利益	1,339	2.1%	1,600	700	523	0.8%	-	-	-
1株当たり配当金	10円		10円	10円	10円		-	-	-
設備投資額	2,973		-	-	2,536		85.3%	-	-
減価償却費	1,363		-	-	1,639		120.2%	-	-
期末 従業員 (人)	正社員	3,940	-	-	4,150		+210	-	-
	臨時雇用者	1,007	-	-	1,094		+87	-	-
	合計	4,947	-	-	5,244		+297	-	-

- ◆ 「売上高」は、7期連続の増収、4期連続の過去最高。
- ◆ 「営業利益」「経常利益」は、人件費と減価償却費に加え、原材料価格と取付工事費等の増加に伴う売上原価率のアップと、販売費及び一般管理費の増加により減益。
「当期純利益」は、新販売管理システム構築に関わる固定資産除却損を特別損失として計上したことで赤字。

- ◆ 「設備投資額」約25億円の主な内訳
 - ・設備の合理化および更新とソフト開発で約13億円。
 - ・ライフイン環境防災研究所の増築関連で約5億円。
 - ・子会社の工場増築で約4億円。
 - ・子会社の自社ビル改修工事で約3億円。
- ◆ 「1株当たり配当金」は、10円。

売上高および営業利益の増減要因

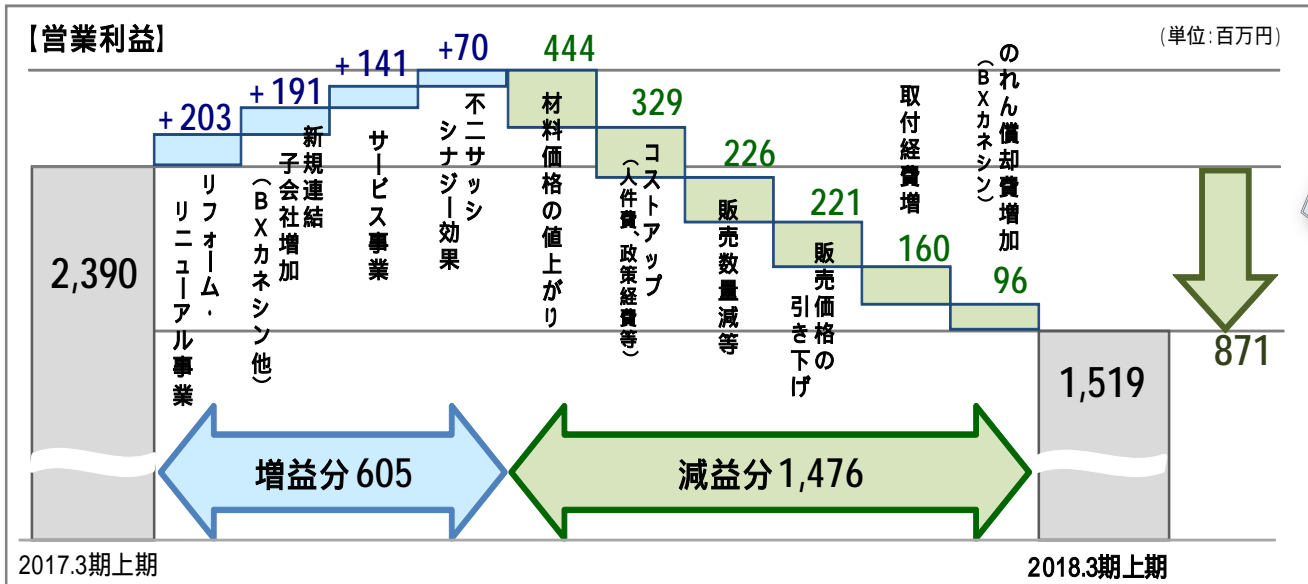


◆「売上高」の増減要因

増収要因は、「新規連結子会社の増加」、「不二サッシとのシナジー効果」、「サービス事業」、「リフォーム・リニューアル事業」が寄与。

減収要因は、軽量シャッターおよびドア・パーティション製品の「販売数量の減少」が影響。

トータルで53億3,700万円の「増収」。



◆「営業利益」の増減要因

増益要因は、「リフォーム・リニューアル事業」、「新規連結子会社の増加」、「サービス事業」などが寄与。

減益要因は、「材料価格の値上がり」、「人件費や政策経費等のコストアップ」、「販売数量減等」、「販売価格の引き下げ」などが影響。

トータルで8億7,100万円の「減益」。

セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

	2017年3月期上期		2018年3月期上期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	23,428 (23,800)	2,920 (3,180)	23,351 (24,400)	1,915 (3,300)
伸率	101.8%	90.0%	99.7%	65.6%
増減	416	324	77	1,005
建材関連製品事業	26,809 (27,200)	649 (800)	30,770 (32,700)	318 (800)
伸率	103.8%	88.2%	114.8%	49.0%
増減	982	86	3,961	331
サービス事業	7,980 (7,900)	574 (610)	8,750 (8,500)	715 (600)
伸率	107.5%	96.4%	109.7%	124.7%
増減	553	21	770	141
リフォーム事業	3,464 (4,500)	134 (30)	3,979 (3,800)	69 (0)
伸率	92.0%	-	114.9%	-
増減	302	12	515	203
その他事業	1,477 (1,600)	94 (100)	1,644 (1,600)	100 (100)
伸率	89.3%	90.1%	111.3%	106.3%
増減	177	10	167	6
配賦不能額	-	1,713 (1,470)	-	1,599 (1,800)
合計	63,160 (65,000)	2,390 (3,250)	68,497 (71,000)	1,519 (3,000)
伸率	102.4%	75.1%	108.4%	63.6%
増減	1,473	793	5,337	871

()は期初予想数字

- ◆「シャッター関連製品事業」は、主に物流倉庫向けの重量シャッターが堅調に推移した一方、重量シャッターの取付経費が増加したことと、軽量シャッターおよび住宅向けの窓シャッターが減少したことにより、「減収減益」。
- ◆「建材関連製品事業」は、連結子会社の増加が売上に寄与した一方で、ドアおよびパーティションの売上が落ち込んだことと、ドアの取付経費が増加したことにより、「増収減益」。
- ◆「サービス事業」は、安全装置の提案などによる修理の売上と、法定点検を含む点検の売上が増加したことにより、「増収増益」。
- ◆「リフォーム事業」は、ビルリニューアル事業および住宅リフォーム事業が堅調に推移し、「増収増益」。
- ◆「その他事業」は、止水事業が堅調に推移したことなどにより、「増収増益」。

売上高の用途別セグメント別分析

(単位:億円)

製品・事業群		用途	合計	工場・倉庫	医療福祉・学校	オフィスビル・公共施設	商業施設	住宅その他
増収額			53.3	14.0	11.1	2.7	7.1	60.2
売上高			684.9	163.9	68.4	76.1	46.6	329.9
シャッター関連製品事業計	増収額		0.7	10.5	2.0	5.5	3.3	0.4
	売上高		233.5	101.7	8.0	13.9	18.6	91.3
軽量シャッター群	増収額		1.0	1.0	0.2	0.1	0.5	0.6
	売上高		77.3	28.8	1.0	4.0	5.2	38.3
重量シャッター群	増収額		3.0	10.5	1.3	3.8	2.3	0.1
	売上高		103.8	63.8	3.6	7.5	9.6	19.3
窓シャッター群	増収額		1.3	-	-	-	-	1.3
	売上高		27.2	-	-	-	-	27.2
シャッター関連群	増収額		1.4	1.0	0.5	1.8	0.5	0.4
	売上高		25.2	9.1	3.4	2.4	3.8	6.5
建材関連製品事業計	増収額		39.6	2.9	10.5	0.2	4.0	51.4
	売上高		307.7	31.6	53.5	42.5	14.8	165.3
エクステリア群	増収額		1.8	-	-	-	-	1.8
	売上高		37.9	-	-	-	-	37.9
ドア・パーティション群	増収額		8.9	2.9	10.5	0.2	4.0	2.9
	売上高		186.0	31.6	53.5	42.5	14.8	43.6
その他建材製品群	増収額		46.7	-	-	-	-	46.7
	売上高		83.8	-	-	-	-	83.8
サービス事業計	増収額		7.7	0.7	1.4	2.8	0.3	2.5
	売上高		87.5	28.0	5.8	18.0	12.0	23.7
リフォーム事業計	増収額		5.1	-	-	-	-	5.1
	売上高		39.8	-	-	-	-	39.8
その他事業計	増収額		1.6	0.1	0.0	0.2	0.1	1.6
	売上高		16.4	2.6	1.1	1.7	1.2	9.8

- ◆ 増収額53億3,000万円を用途別で見ると、「工場・倉庫」「住宅その他」向けが牽引。
- ◆ 「工場・倉庫」向けは、主に物流倉庫向けの重量シャッターが好調に推移し、14億円の「増収」。
- ◆ 「医療福祉・学校」向けは、シャッター群およびドア群の減少が影響し、11億1,000万円の「減収」。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設」向けは、重量シャッターが低調に推移し、2億7,000万円の「減収」。
- ◆ 「商業施設」向けは、シャッター群およびドア群の減少が影響し、7億1,000万円の「減収」。
- ◆ 「住宅その他」向けは、主に子会社の「BXカネシン」が寄与し、60億2,000万円の「増収」。

2018年3月期の見通しについて

【事業環境】	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率
新設住宅着工戸数 (万戸)	92.0	104.6%	97.4	105.8%	95.1	97.6%
非住宅着工床面積 (万㎡)	4,998	95.0%	5,133	102.7%	5,185	101.0%
工場 (万㎡)	885	114.7%	828	93.6%	913	110.3%
倉庫 (万㎡)	809	98.8%	865	106.9%	865	100.0%
医療・福祉 (万㎡)	692	75.7%	736	106.4%	673	91.4%
店舗 (万㎡)	605	84.7%	561	92.8%	504	89.8%
事務所 (万㎡)	612	99.0%	668	109.2%	760	113.7%

新設住宅着工床面積と非住宅着工床面積は、建設経済研究所のデータを参考に試算

【売上構成比】	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期上期
住宅向け	33.4%	34.6%	40.5%
非住宅向け	66.6%	65.4%	59.5%

◆ 経済環境について

雇用および所得環境の改善が継続することなどを背景に、経済の好循環が進展する中で、景気は緩やかな回復基調が続く見通し。

また、企業収益が改善傾向にあることを背景に、設備投資等が持ち直している中で、個人消費についても緩やかに持ち直していく見通し。

◆ 建築市場について

新設住宅着工戸数は、分譲マンションが好調に推移する一方で、貸家については相続税の節税対策に一服感が見られることから、前期比2.4%減の95万1,000戸を予想。

非住宅着工床面積は、東京五輪関連施設をはじめ、企業の設備投資計画等が増加する見通しから、前期比1.0%増の5,185万㎡を予想。

(単位:百万円)

	2017年3月期				2018年3月期							
	上期実績	下期実績	通期実績	売上比	上期実績	下期予想	前年同期比	通期予想				
								期初予想	11月予想	売上比	前期比	増減
売上高	63,160	82,695	145,855	100.0%	68,497	88,003	106.4%	160,000	156,500	100.0%	107.3%	10,645
売上原価	45,798	61,910	107,708	73.8%	50,360	66,290	107.1%	117,200	116,650	74.5%	108.3%	8,942
売上総利益	17,362	20,784	38,146	26.2%	18,136	21,714	104.5%	42,800	39,850	25.5%	104.5%	1,704
販売費及び一般管理費	14,971	15,895	30,866	21.2%	16,616	16,384	103.1%	33,800	33,000	21.1%	106.9%	2,134
営業利益	2,390	4,890	7,280	5.0%	1,519	5,331	109.0%	9,000	6,850	4.4%	94.1%	430
経常利益	2,486	5,977	8,463	5.8%	1,587	5,813	97.3%	9,550	7,400	4.7%	87.4%	1,063
当期純利益	1,339	4,628	5,967	4.1%	523	3,923	84.8%	6,400	3,400	2.2%	57.0%	2,567
1株当たり配当金	10円	10円	20円		10円	10円		20円	20円		-	-
設備投資額	2,973	5,125	8,098		2,536	-		5,000	5,000		-	3,098
減価償却費	1,363	1,591	2,954		1,639	-		3,500	3,500		-	546
期末従業員 (人)	正社員	3,940	-	4,012	4,150	-		4,130	4,120		-	108
	臨時雇用者	1,007	-	1,056	1,094	-		1,120	1,120		-	64
	合計	4,947	-	5,068	5,244	-		5,250	5,240		-	172

◆「市場背景と受注状況」

東京五輪関連施設の着工が当初予定より遅れたことにより、大型案件の現場を中心に着工時期がずれ込んでいる。当社の受注状況は前年同期並に改善してきているものの、厳しい受注競争が継続する見通し。

◆「売上高および営業利益」

売上高は期初予想比35億円減の1,565億円、営業利益は同21億5,000万円減の68億5,000万円を予想。

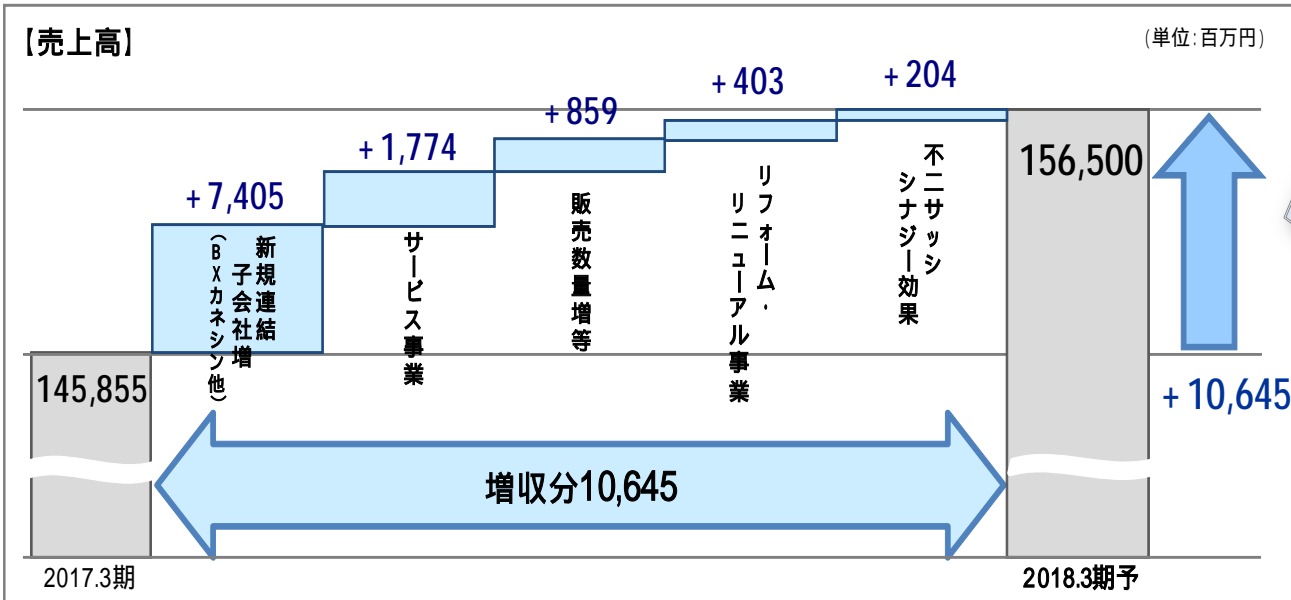
◆「設備投資額」

設備の合理化および更新とシステム関連費用をあわせた約25億円、工場の増築とラインの増設で約20億円、ライフィン環境防災研究所の増築関連で約5億円、計50億円の見通し。

◆「1株当たり配当金」

上期10円、下期10円の通期20円を予定。

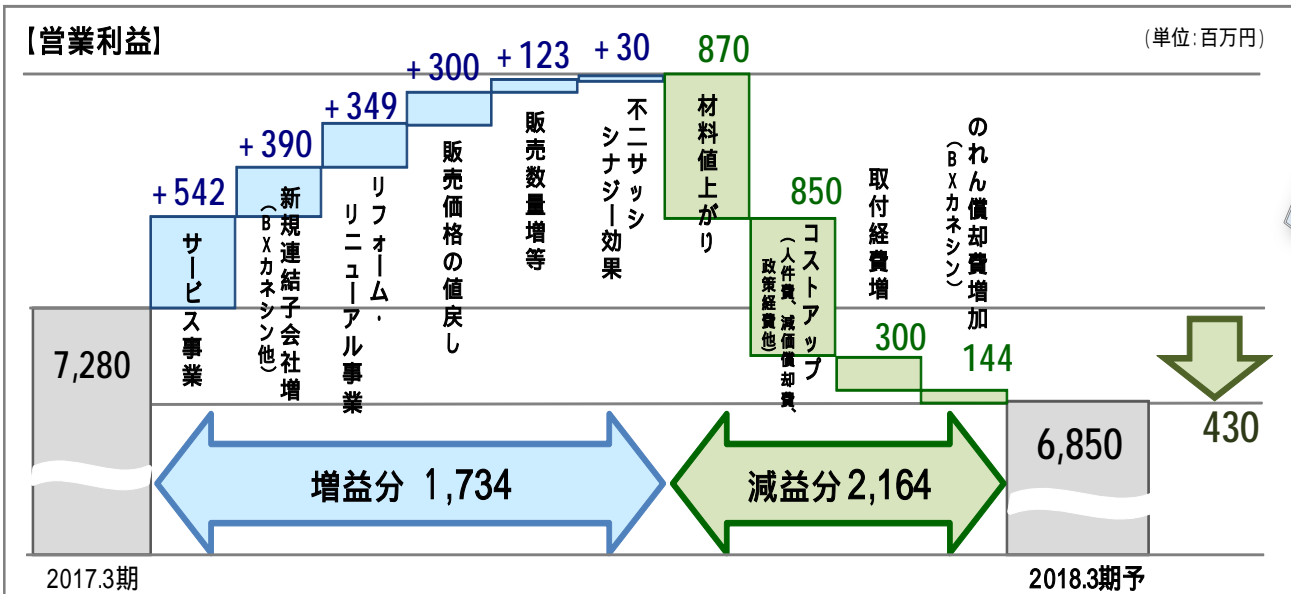
売上高および営業利益の増減要因



◆ 「売上高」の増減要因

「新規連結子会社のBXカネシンとBX TOSHOの増加分」、「サービス事業」、「販売数量の増加」、「リフォーム・リニューアル事業」など。

106億4,500万円の「増収」を見込む。



◆ 「営業利益」の増減要因

増益要因は、「サービス事業」、「新規連結子会社の増加分」、「リフォーム・リニューアル事業」、「販売価格の値戻し」など。

減益要因は、「材料価格の値上がり」、要員増に伴う人件費の増加と、減価償却費の増加など政策経費を含めた「コストアップ」など。

トータルで4億3,000万円の「減益」を見込む。

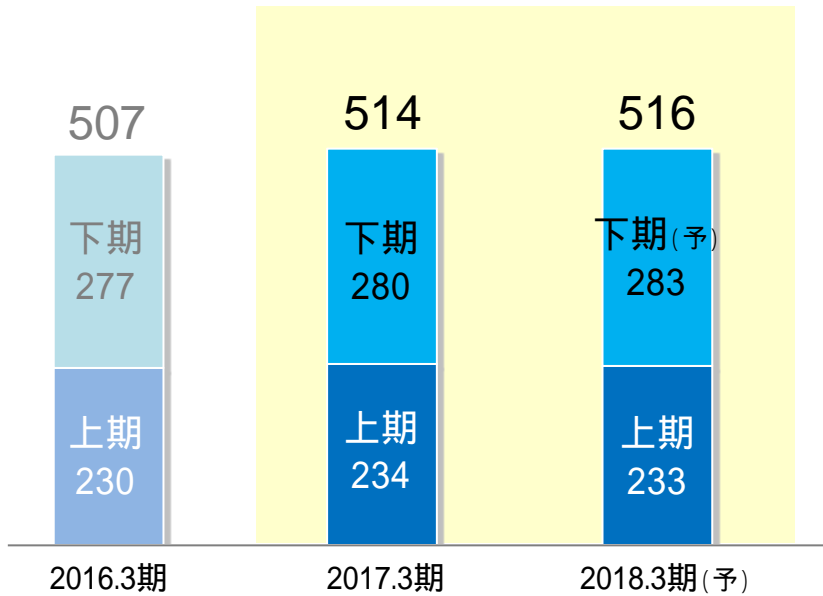
セグメント別状況

(単位:百万円)

【売上高】	2017年3月期						2018年3月期							
	上期実績			通期実績			上期実績			通期予想				
	伸率	増減		伸率	増減	伸率	増減	期初予想	11月予想	伸率	増減			
シャッター関連事業	23,428	101.8%	416	51,445	101.3%	656	23,351	99.7%	77	54,000	51,600	100.3%	155	
建材関連事業	26,809	103.8%	982	65,275	101.0%	616	30,770	114.8%	3,961	75,100	73,300	112.3%	8,025	
サービス事業	7,980	107.5%	553	17,726	107.7%	1,262	8,750	109.7%	770	19,000	19,500	110.0%	1,774	
リフォーム事業	3,464	92.0%	302	7,797	101.2%	91	3,979	114.9%	515	8,100	8,200	105.2%	403	
その他事業	1,477	89.3%	177	3,610	101.3%	47	1,644	111.3%	167	3,800	3,900	108.0%	290	
合計	63,160	102.4%	1,473	145,855	101.9%	2,674	68,497	108.4%	5,337	160,000	156,500	107.3%	10,645	
【営業利益】														
シャッター関連事業	2,920	90.0%	324	6,788	90.0%	753	1,915	65.6%	1,005	7,700	5,120	75.4%	1,668	
建材関連事業	649	88.2%	86	1,829	53.8%	1,572	318	49.0%	331	2,470	2,000	109.3%	171	
サービス事業	574	96.4%	21	1,958	105.2%	96	715	124.7%	141	2,100	2,500	127.7%	542	
リフォーム事業	134	-	12	199	-	82	69	-	203	50	150	-	349	
その他事業	94	90.1%	10	249	104.6%	10	100	106.3%	6	280	280	112.3%	31	
配賦不能額	1,713	124.5%	337	3,346	117.8%	505	1,599	93.4%	114	3,600	3,200	95.6%	146	
合計	2,390	75.1%	793	7,280	72.2%	2,806	1,519	63.6%	871	9,000	6,850	94.1%	430	
【受注残高】														
シャッター関連事業	20,858	112.7%	2,357	18,855	111.1%	1,884	21,637	103.7%	779	21,000	20,600	109.3%	1,745	
建材関連事業	37,998	96.4%	1,404	34,056	113.0%	3,926	41,991	110.5%	3,993	39,600	40,000	117.5%	5,944	
サービス事業	2,130	122.2%	387	1,730	105.1%	83	2,387	112.1%	257	1,800	2,100	121.4%	370	
リフォーム事業	1,581	121.9%	283	1,358	113.7%	163	1,332	84.3%	249	1,500	1,500	110.5%	142	
その他事業	903	142.7%	270	826	196.0%	404	1,034	114.6%	131	1,100	1,100	133.2%	274	
合計	63,471	103.1%	1,894	56,827	112.8%	6,462	68,383	107.7%	4,912	65,000	65,300	114.9%	8,473	
【受注高】														
シャッター関連事業	27,315	106.5%	1,662	53,329	102.8%	1,429	26,132	95.7%	1,183	56,144	53,344	100.0%	15	
建材関連事業	34,678	97.3%	975	69,201	106.1%	3,989	38,705	111.6%	4,027	80,643	79,243	114.5%	10,042	
サービス事業	8,464	109.2%	710	17,809	106.7%	1,114	9,407	111.1%	943	19,069	19,869	111.6%	2,060	
リフォーム事業	3,850	88.1%	520	7,960	97.0%	247	3,953	102.7%	103	8,241	8,341	104.8%	381	
その他事業	1,958	122.2%	356	4,015	121.7%	714	1,853	94.6%	105	4,073	4,173	103.9%	158	
合計	76,267	101.6%	1,232	152,317	104.8%	7,001	80,053	105.0%	3,786	168,172	164,972	108.3%	12,655	

重点施策の進捗状況について

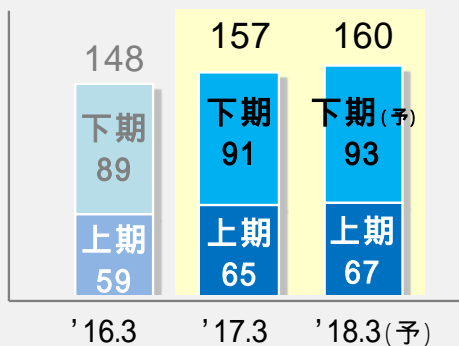
「シャッター事業」売上高(億円)



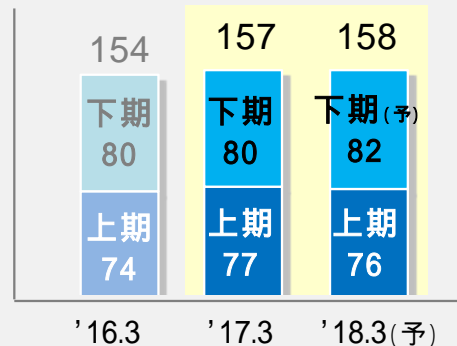
◆ シャッター事業

- ・上期は、軽量シャッター、窓シャッターの売上高が前年を下回ったものの、重量シャッターをはじめとする工場、倉庫向け製品が牽引した結果、売上高は前年横ばいの233億円となった。
- ・通期は、当期受注当期売上げの積み上げと、堅調な非住宅市場を背景に、売上高は516億円の微増を見込む。

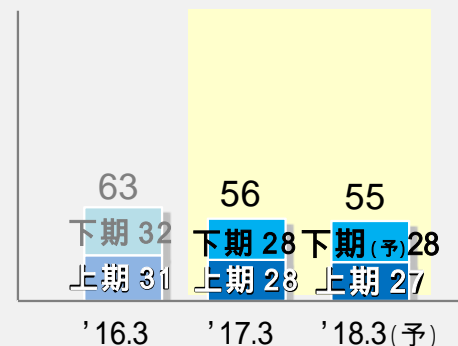
「重量シャッター」売上高



「軽量シャッター」売上高

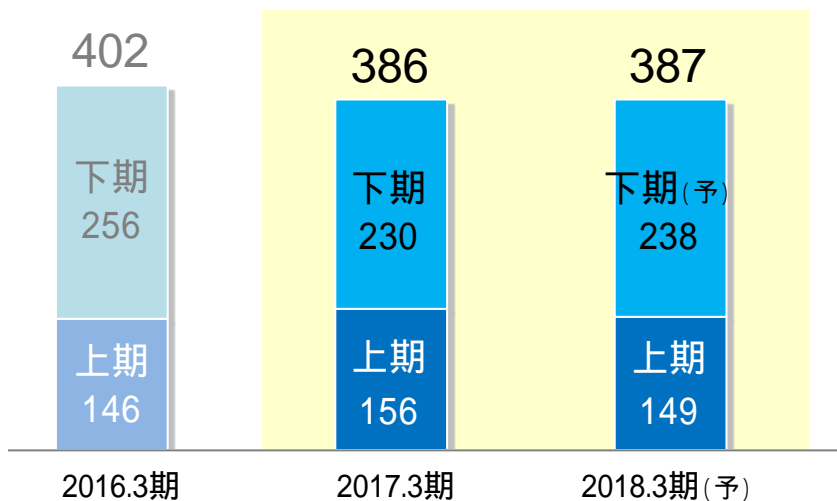


「窓シャッター」売上高



配線、配管工事不要の無線式押しボタンスイッチ「セレアーク」

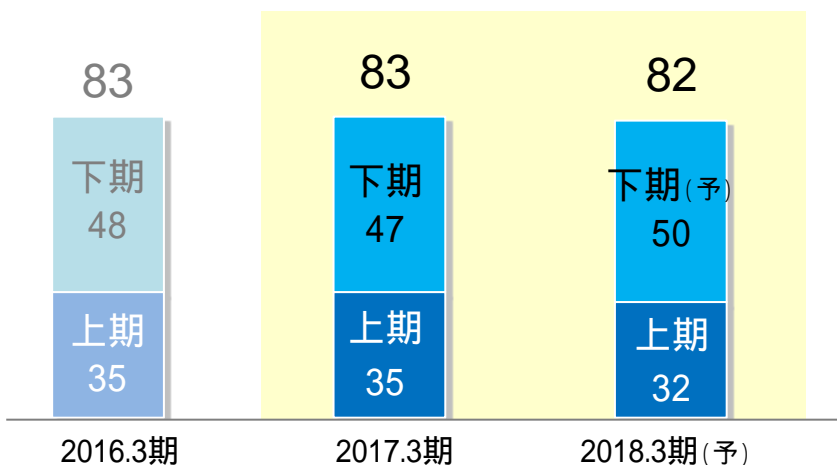
「ドア事業」売上高(億円)



◆ ドア事業

- ・上期は、「医療福祉・学校」と「商業施設」向けが減少した結果、売上高は前年同期比7億円減の149億円となった。
- ・通期は、堅調な受注残を背景に、売上高は387億円の微増を見込む。

「パーティション事業」売上高(億円)



◆ パーティション事業

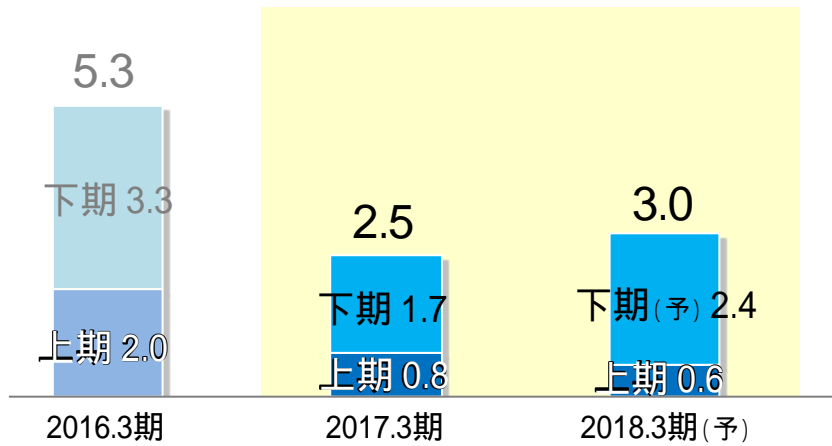
- ・上期は、オフィスビル向けが好調の一方で、学校向けの減少が大きく、売上高は前年同期比3億円減の32億円となった。
- ・通期は、当期受注当期売上を加速させることで、売上高は82億円を見込む。



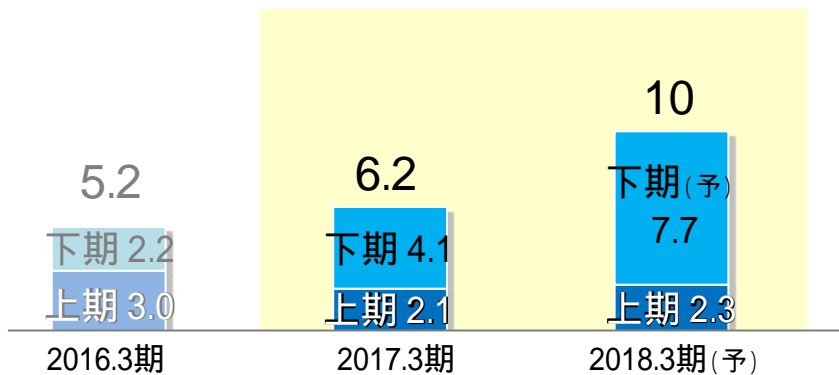
(写真左)
地震による建物の
変形時にも閉鎖
する防火戸
「アスコード」

(写真右)
対震性を備えた
マンション向け
玄関引戸
「ヴァリフェイスAe」

「エコ事業」売上高(億円)



「防災事業」売上高(億円)



◆ エコ事業(エネルギー事業)

- ・再生可能エネルギーの導入により、年間の一次エネルギー消費量の収支ゼロをめざした住宅「ZEH」(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及・拡大を背景に、通期は売上高3億円をめざす。

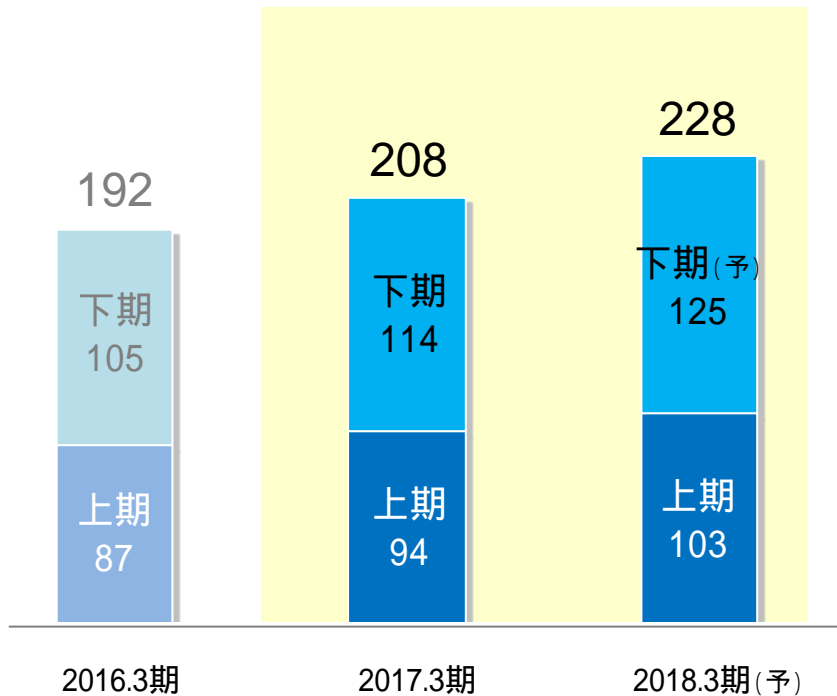
◆ 防災事業(止水事業)

- ・上期の売上高は、前年同期比2,000万円増の2億3,000万円。
- ・積極的な提案営業による新規顧客の拡大とテレビ番組で紹介された販促効果もあり、受注状況は好調に推移。通期は計画通り、売上高10億円をめざす。



< テレビ番組による止水製品の紹介 >
9月10日放映の「がっちりマンデー!!」で止水事業の取り組みと止水商品が紹介された。

「メンテナンス事業」売上高(億円)

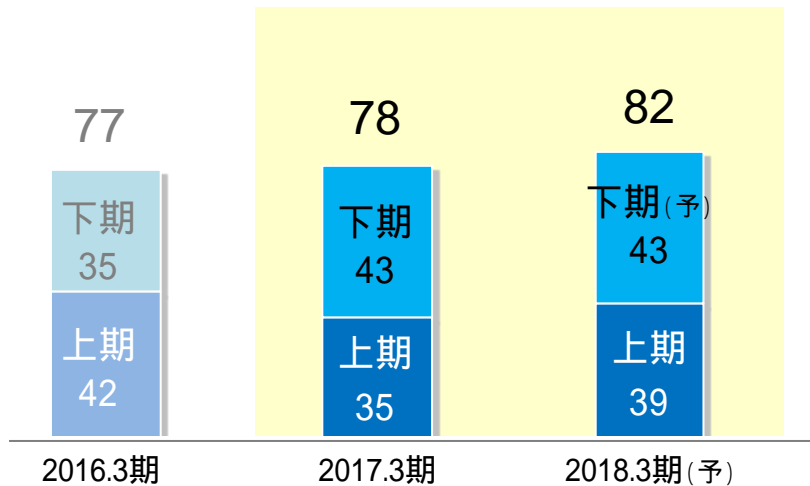


◆ メンテナンス事業

- ・上期は、安全装置の提案などによる修理売上と、法定点検の売上が寄与し、売上高は、前年同期比9億円増の103億円となった。
- ・通期は、引き続き法定点検の売上増加の寄与を考慮し、売上高は前期比20億円増の228億円を見込む。



「ロングライフ事業」売上高(億円)



◆ ロングライフ事業

- ・上期は、ビルリニューアル事業、住宅リフォーム事業の売上が増加した結果、売上高は前年同期比4億円増の39億円となった。
- ・通期の売上高は、前期比4億円増の82億円を見込む。

<ビルリニューアル事業>

- ・マンションの大規模改修からドア等の改修や交換などきめ細かな受注活動により、売上拡大を図る。

<住宅リフォーム事業>

- ・商品アイテムだけでなく拠点政策も含めたBXグループ内の連携強化を図り、新規顧客およびリピート顧客の獲得により売上拡大を図る。

<オフィスビル改修の施工事例>



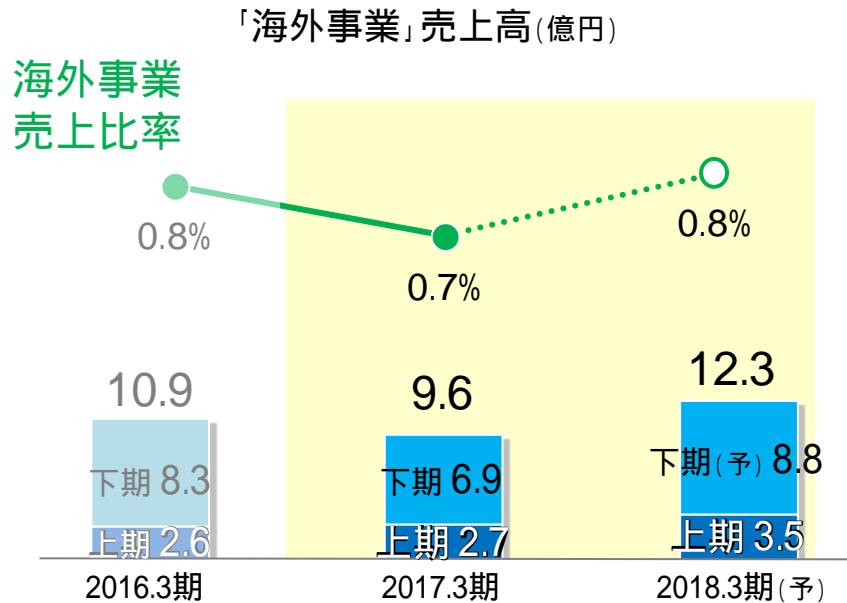
防水工事を行った屋上フロア



LED照明を設置し、床を張り替えたフロア



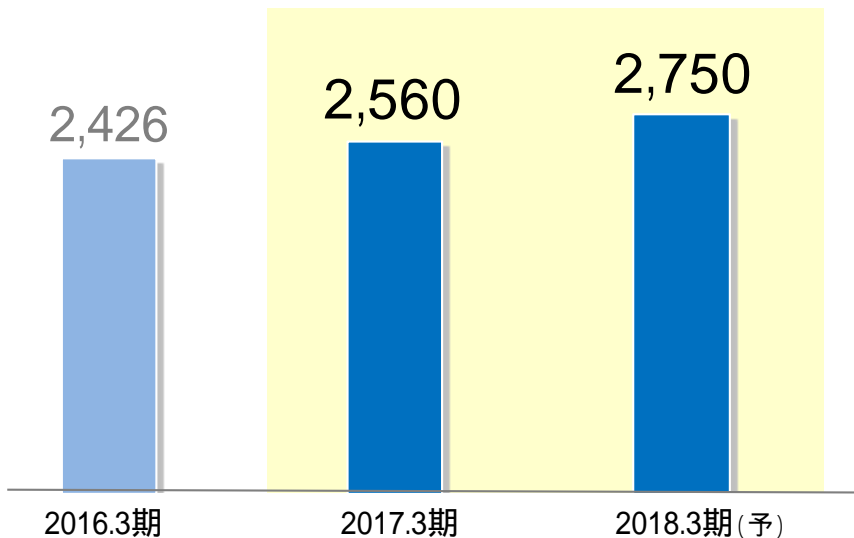
シート製の防煙垂れ壁「ケムストップ」を設置した1Fフロア



◆ 海外事業

- ・上期は、東南アジアを中心にドアの売上増加が寄与し、売上高は前年同期比8,000万円増の3億5,000万円となった。
- ・9月30日に、合併会社BX BUNKA TAIWANを解散。引き続き、台湾市場において、非住宅市場を中心に物件対応を進める。
- ・通期は、Eurowindow社および不二サッシとの協業体制をさらに加速させることで、売上高は前期比2億7,000万円増の12億円3,000万円をめざす。

「工事員数」(人)



◆ 施工体制の強化拡充

- ・上期は、前期末から50名増の2,610名に拡充。東京五輪関連施設や再開発物件の受注増対応を見据え、2,750名の工事員体制をめざす。



トピックス

- ・2008年に開設した「ライフインセンター」の規模と機能を拡充し、総合試験施設『ライフイン環境防災研究所』として7月25日よりオープン。
- ・シャッター業界初の耐震試験装置をはじめとする7種類の試験設備を新規導入し、エコと防災をキーワードとしたオリジナル製品の開発スピードアップにつなげていく。



総合試験施設「ライフイン環境防災研究所」



シャッター業界初の耐震試験装置を導入

新商品 ～震災時にも機能するドア～

地震でドア枠が変形しても扉の開閉が可能



6月発売開始

マンション向け玄関引戸
「ヴァリフェイスAe」

地震による建物変形時にも閉鎖する防火戸



9月発売開始

大変形追従随時閉鎖型防火戸
「アスコード」

受賞商品



GOOD DESIGN
AWARD 2017

2017年度グッドデザイン賞
マンション向け玄関引戸
「ヴァリフェイスAe」



2017年度“超”モノづくり部品大賞「奨励賞」
配線、配管工事不要の電動シャッター用
無線式押しボタンスイッチ「セレーキ」



參考資料

経営理念	「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」 「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」 「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
概 要	文化シャッター株式会社及び子会社18社
事 業	シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、 リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
拠 点	310営業拠点 130サービス拠点 24工場
従業員数	4,150名(2017年9月末現在)

【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者	代表取締役社長 執行役員社長 潮崎 敏彦
設 立	1955年(昭和30年)4月18日
資本金	15,051百万円
本 社	東京都文京区西片1-17-3

文化シャッター株式会社

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

BX新生精機 (株)

「オーニング」製造・販売

BXテンパール (株)

「シャッター」製造・販売

BX沖縄文化シャッター(株)

「シャッター」販売

文化シャッター秋田販売(株)
文化シャッター高岡販売(株)
 (3)

- 1 非連結子会社で持分法非適用会社
- 2 関連会社で持分法適用会社
- 3 関連会社で持分法非適用会社

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

BX文化パネル (株)
BX中央工業(株)(1)

「ドア」製造

BXケンセイ (株)
BX鐵矢 (株)
BX東北鐵矢 (株)
BX朝日建材 (株)

「建築金物」製造・販売

BXカネシン(株)

「ドア」「スライディングウォール」製造・販売

BXティアール (株)

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲 (株)

「建築材料」製造・販売

BX西山鉄網 (株)

「再生複合材」製造・販売

(株)エコウッド (3)

その他事業

「注文家具」製造・販売

BX文化工芸 (株)

「損害保険代理業」

BXあいわ (株)

「建築構造設計」

BX TOSHO(株)

サービス事業

「シャッター・ドア等の修理・点検」

文化シャッターサービス(株)

リフォーム事業

「住宅リフォームの設計・施工・請負」

BXゆとりリフォーム (株)

海外事業展開

「シャッター」「ドア」「オーニング」製造・販売

BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.

「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造・販売

**The European Plastics
 Window JSC. (2)**

(ベトナム)

～海外企業との提携～

Entrematic Belgium NV
 1999年より高速シートシャッター
 「エア・キーパー大間迅」発売

その他

「ビル用サッシ他」製造・販売

不二サッシ (株)グループ
 (2)

連結貸借対照表

(単位: 百万円、%)

	2017年3月期上期		2018年3月期上期		増	減
		構成比		構成比		
流動資産	76,344	59.9	78,526	57.4	2,182	102.9
現金・預金	23,706	18.6	22,351	16.3	1,355	94.3
受取手形・売掛金	31,538	24.7	33,787	24.7	2,249	107.1
たな卸資産	16,158	12.7	17,318	12.7	1,160	107.2
その他	4,942	3.9	5,070	3.7	128	102.6
固定資産	51,103	40.1	58,183	42.6	7,080	113.9
土地	9,919	7.8	11,538	8.5	1,619	116.3
投資有価証券	14,576	11.4	17,100	12.5	2,524	117.3
その他の投資・資産	2,251	1.8	2,488	1.8	237	110.5
その他	24,357	19.1	27,057	19.8	2,700	111.1
資産合計	127,447	100.0	136,709	100.0	9,262	107.3
流動負債	42,785	33.6	45,061	33.0	2,276	105.3
支払手形・買掛金	26,589	20.9	28,384	20.8	1,795	106.8
短期借入金	2,000	1.6	3,200	2.3	1,200	160.0
その他	14,196	11.1	13,477	9.9	719	94.9
固定負債	22,857	17.9	24,893	18.2	2,036	108.9
長期借入金	2,500	2.0	4,450	3.2	1,950	178.0
退職給付に係る負債	18,493	14.5	18,440	13.5	53	99.7
その他	1,864	1.5	2,003	1.5	139	107.5
負債合計	65,642	51.5	69,954	51.2	4,312	106.6
純資産合計	61,804	48.5	66,755	48.8	4,951	108.0
負債・純資産合計	127,447	100.0	136,709	100.0	9,262	107.3

1株当たり株主資本

862円06銭

931円12銭

期末株価

800円

842円

PBR(株価純資産倍率)

0.93

0.90

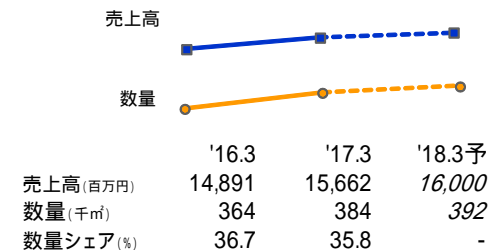
連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2017年3月期上期	2018年3月期上期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,357	4,702	655
税金等調整前当期純利益	2,464	34	2,498
減価償却費	1,087	1,295	208
売上債権の増減額(は増加)	10,253	8,350	1,903
仕入債務の増減額(は減少)	2,920	1,352	1,568
たな卸資産の増減額(は増加)	3,252	4,298	1,046
法人税等の支払額	2,157	879	1,278
その他	118	1,620	1,738
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	2,355	2,690	335
投資有価証券の取得による支出	93	13	80
有形固定資産の売却による収入	8	143	135
有形固定資産の取得による支出	1,955	2,517	562
無形固定資産の取得による支出	655	357	298
その他	340	54	286
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,454	2,086	632
長期借入金の返済による支出	500	1,100	600
配当金の支払額	717	717	0
その他	237	269	32
4. 現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,555	81	1,636
5. 現金及び現金同等物の期首残高	20,522	20,860	338
6. 現金及び現金同等物の期末残高	22,077	20,779	1,298

シャッター関連製品の状況（単体）

< 重量シャッター >

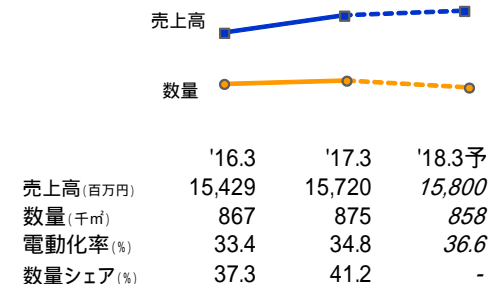


数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比3.0%増。
- ◆ 通期は、大型物流倉庫向けを中心に売上高は前期比2.2%増の160億円を計画。

< 軽量シャッター >

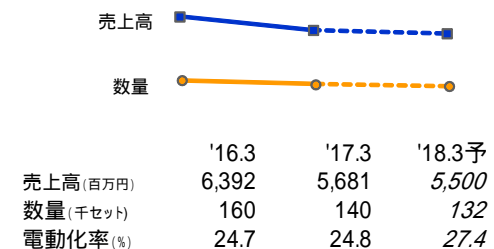


数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比1.2%減。
- ◆ 通期は、住宅および工場・倉庫向けを中心に売上高は前期比0.5%増の158億円を計画。

< 窓シャッター >



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比4.6%減。
- ◆ 通期の売上高は、前期比3.2%減の55億円を計画。

< ドア >



	'16.3	'17.3	'18.3 予
売上高 (百万円)	37,444	36,267	36,900



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比4.0%減。
- ◆ 通期の売上高は、前期比1.7%増の369億円を計画。

< パーティション >



	'16.3	'17.3	'18.3 予
売上高 (百万円)	8,243	8,276	8,200



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比8.0%減。
- ◆ 通期の売上高は、前期比0.9%減の82億円を計画。

< エクステリア >



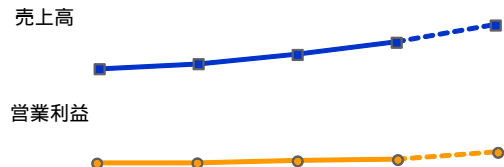
	'16.3	'17.3	'18.3 予
売上高 (百万円)	7,192	7,732	8,000

横引雨戸を含めた金額で表示しています。



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比5.1%増。
- ◆ 通期の売上高は、前期比3.5%増の80億円を計画。

< サービス事業 >



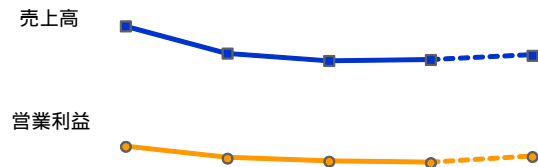
	'14.3	'15.3	'16.3	'17.3	'18.3予
売上高(百万円) (保守・点検、修理加工)	14,983	15,502	16,463	17,726	19,500
営業利益(百万円)	1,697	1,717	1,862	1,958	2,500
営業利益率(%)	11.3	11.1	11.3	11.0	12.8

- ◆ 上期は、安全装置の提案などによる修理の売上と、法定点検を含めた点検の売上が増加し、売上高は前年同期比9.7%増。
- ◆ 通期は、引き続き法定点検による点検の売上増加を見込んで、売上高は前期比10.0%増の195億円を計画。



修理・保守点検の様子

< リフォーム・リニューアル事業 >



	'14.3	'15.3	'16.3	'17.3	'18.3予
売上高(百万円)	11,042	8,417	7,705	7,797	8,200
営業利益(百万円)	740	54	117	199	150
営業利益率(%)	6.7	0.6	-	-	1.8
事業所数	21	21	24	24	-

- ◆ 上期は、3期ぶりに黒字化を達成。
- ◆ 通期は、住宅リフォームの受注状況が改善傾向にあることから、売上高は前期比5.2%増の82億円、営業利益は3期ぶりの黒字を計画。



BXゆとりリフォームが開催した創業20周年リフォーム大創業祭イベント(写真上)とオフィスビル改修の施工事例(写真下)

問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曽根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<http://www.bunka-s.co.jp/>